

播 都 第 443号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

播磨町長 清 水 ひろ子



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記のことについては、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

兵庫県播磨町

今後の道路政策や道路の整備・管理について

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ①港湾、空港、及び相互交通施設へのアクセス道路整備
- ②産業の活性化、観光客など人の動きを活発にする幹線道路整備
- ③渋滞の回数や時間が多い箇所のバイパス道路建設
- ④地球温暖化防止対策として自転車の利用の促進（自転車専用道路）
- ⑤地域間をつなぐ道路及び地域内の幹線道路（都市計画道路）の整備

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ①社会資本整備重点計画などに合わせ流通促進のための道路整備
- ②コスト縮減を図るための使用材料の標準化と企業間の競争原理の促進
- ③建設時の費用の低減だけでなく維持管理の低減を図る使用材料の選定

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ①事務手続きの簡素化と道路財源を利用した道路整備の補助事業の創設
- ②地方の道路整備の計画的な推進を図るため、地方道路整備臨時交付金の拡充等、道路特定財源の地方への配分の強化
- ③市町村への県道・国道の受託管理・一体的な管理の促進及びそれに伴う財源の確保
- ④安全・安心な生活道路の構築
- ⑤地域住民との連携による道路管理

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

兵庫県播磨町

○現状

・都市計画道路浜幹線（町施工）について

浜幹線は、昭和３３年に都市計画決定された明石市・播磨町・加古川市の２市１町にまたがる幅員１６ｍの幹線道路であり、町内約２，８００ｍのうち県道本荘平岡線以西３分の２は完成し、供用しておりますが、以東約１，０７０ｍが未整備である。

東側の明石市域では、山陽電鉄「西二見駅」とともに土地区画整理事業で整備され、県道二見港土山線とつながり、一方、西側の加古川市域では山陽電鉄「別府駅」に近接して、県道八幡別府線につながり、国道２５０号線及び県道明石高砂線の補完的役割を果たしている。

○課題

国道２５０号線の交通量は増大の一途をたどっており、県道明石高砂線も同様であり、本町内の当該地域には、東西の幹線道路がないことから、朝夕の通勤時間帯には、この渋滞を避けるため、集落内の狭隘な道路に流入し、住民や通学児童生徒と輻輳することなどから多くの問題が発生している。

また、防災上有効な避難経路となる幹線道路は、国道２５０号線以外にないことから、住民の安全・安心な生活環境の確保と防災対策に不備がある。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

兵庫県播磨町

現状と課題

急速なモータリゼーションの発達により、円滑な交通の確保が困難となっており、活力ある経済活動や安全で快適な地域づくりに支障となっている。また、駅周辺などの中心市街地の活性化、幹線道路の整備のほか、新しい生活様式、価値観の多様化による生活道路網の充実など、豊かな生活空間の確保が求められている。本町は、鉄道、国道などにより、東西方向を中心として交通の便が非常に発達しており、神戸市、明石市、加古川市など近隣都市への就業者が多い。このことから、鉄道、道路など交通の利便性を生かした周辺都市との連携など広域的視野でのまちづくりとともに、ＪＲ土山駅や山陽電鉄播磨町駅の周辺整備のほか、環境に配慮しつつ生活の向上を図るため、幹線道路をはじめ生活道路網を整備する必要がある。

基本方針

町の骨格となる都市計画道路の整備を進めるとともに、安全で快適な暮らしを支える生活道路網を充実させる。また、地域連携と物流の効率化を図るため、東播磨地域の広域道路網の強化を図る。

主要施策

①都市計画道路の整備

幹線道路のネットワークを構築するため、未整備となっている都市計画道路の整備を推進する。

②生活道路網の充実

毎日の暮らしに密着し災害にも備えるため、地区内の生活道路網の整備と充実を計画的に推進する。

③人にやさしい道づくりの推進

歩行者、自転車などの安全で快適な通行を確保するため、道路のバリアフリー化を推進するとともに、緑道などとのネットワーク化を進める。

④東播磨広域道路網の強化

阪神、姫路地域などとの連携と物流の効率化を進めるため、東播磨地域の交通体系を見据えた広域道路網の整備を促進する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

兵庫県播磨町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国際競争力の強化	播磨臨海地域道路の整備 播磨臨海地域は、明石市、稲美町、播磨町、加古川市、高砂市及び姫路市で構成され、日本を代表する製造拠点群が集積し、約５兆円の製造品出荷額を誇っている。 当地域の幹線道路である国道２号バイパス（姫路バイパス・加古川バイパス）及び国道２５０号の１日当たりの交通量は約１４万６千台を超える超過密道路であり、東西幹線や南北道路まで慢性的な渋滞がみられ、生活道路の環境悪化、騒音、排気ガスの問題、また、物流など企業活動にも悪影響が出てきている。	○期待する効果や評価等 本町にとっては、神戸、姫路方面へのアクセスが向上し、また、通過車両を分散させることにより慢性的な渋滞が解消するとともに、災害時の避難道路として安心、安全のまちづくりにまた、地域経済の発展、雇用の創出、観光、文化交流に大きく寄与する。	